



にき よしひと 議員
仁木 義人

ICTを利用した
授業や家庭学習
改めて凄い時代です

問 学校以外で学習の場の創設は

教育長 充実に向けた環境づくりに努める

GIGAスクール

問 昨年度、一人一台の端末配置や各学校の通信ネットワーク環境が整い、本格的にICTを利用した学習が始まったが、現状と課題は。

教育長 各学校では授業の中で操作方法を覚えタブレットに慣れるところから始め、児童生徒の習熟度に応じて幅広い活用に取り組んでおり、タブレットの自宅持ち帰りによるオンライン授業などでも活用されている。

今後の課題は、デジタル教科書やデジタルドリルについて、国の



ICTを利用した学習が進んでいる



実際に利用しているタブレット型パソコン「クロームブック」

動向を見ながら整備していく必要がある。

また、教職員の活用スキルを高めるような研修の実施や支援体制の整備などが必要。

学校以外の学びの場

問 放課後や休日の学習の場の創設は。

教育長 現在、各学校や児童センターなどでの放課後や休日の学習の場の取り組み以上のことは予定していないが、子どもたちの学習・交流・体験などの充実に向けた環境づくりに努める。

精神的なサポート

問 SNSの普及などにより、複雑な問題や悩みを抱える子どもたちのサポート体制は。

教育長 担任教師を含む教職員が、一人一人子どもたちを観察し、悩みや不安を見逃さないように学校全体で取り組んでいる。

また、教育専門員の学校訪問や関係機関との情報の共有を図り、さまざまな教育相談などに対応している。

問 町有車両の入れ替えのタイミングは

町長 更新計画に沿って順次更新する

長期使用の公用車

電気自動車

問 町で所有している公用車や作業車などは、使用目的に応じ多くの車両を管理しているが、年式の古い車両も多く見受けられる。町有車両の現状と課題は。

町長 使用している車両の中には25年以上経過している車両が10台程度あり、長期間使用により部品供給がなく、修繕料の高額化や修繕期間の長期化のほか、長距離走行に使用できないなどの課題がある。このため、昨年度より策定した「一般公用車更新計画」などに沿って順次更新していく。

費用削減や環境配慮だけでなく、災害や停電時に電力を供給することができない電気自動車などの導入の考えは。

町長 今後、充電施設の設置数や安全面の確認ができれば購入のタイミングだと考えている。

カーラッピング

問 町のPRにつながる公用車のカーラッピングの考えは。

町長 町の魅力をPRすべきとの想いは同じなので、費用対効果を見極めながら検討していく。



仁木議員の一般質問を視聴できます